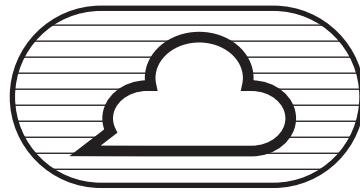


4期連続の粉価上昇

小麦粉



くもり

上で、国内産小麦を使ったパンや麺が広がりを見せている。内麦の需要が拡大傾向にあるが、一方で実需に生産が追いつかない逆ミスマッチが続いている。輸入小麦の政府売り渡し価格は

今夏の猛暑で乾麺は好調だったが、パンはやや低調。小麦粉消費量はほぼ横ばいで推移している。家庭用ではボトル容器入りやダマになりにくい付加価値品や、小容量品が増加傾向にある。国産志向の高まりや品質向

4期連続の引き上げとなり、製粉各社は12月20日から粉価改定を実施。二次加工品への波及が当面の焦点となる。

輸入小麦の政府売渡価格推移

(円/t、税込み)

